



全国中学校駅伝大会 男子7位入賞

角野中大躍進!!

P T A すみの P T A

新居浜市立
角野中学校
P. T. A
文 教 部

号外

山口県山口市セミナーパーククロスカントリーコース

角野中 第7位 58分17秒 (昨年14位 58分31秒)

区間名(距離)	選手名	記録(分' 秒")	総合順位
第1区(3km)	藤原 匠平	9' 20"	5位
第2区(3km)	山中 福至	9' 32"	4位
第3区(3km)	大西 北斗	9' 32"	3位
第4区(3km)	真鍋 勝耐	9' 49"	4位
第5区(3km)	松岡 祐月己	10' 23"	8位
第6区(3km)	森山 雅浩	9' 41"	7位
サブメンバー	青野 祐太・経種 亮平・藤田 啓生・三沢 亮太郎		



TV 放映「激走! 全中駅伝~第17回全国中学校駅伝大会~
愛媛朝日テレビ (eat) 1月10日(日) 深夜1:55~2:45

大会当日、本州はうっすらと雪景色、小雪舞う中での全力疾走。1区匠平が5位でバトンタッチ! その後も抜きつ抜かれつ、角中の選手全員が力を合わせ、アンカーの雅浩が7位でゴールした時には、応援団一同拍手喝采! 感動をありがとう! の力走でした。全国で7位入賞って、すごいですよ!

監督 河村 公寿

寒さと強風という悪いコンディションの中、各ランナーが持てる力を発揮してくれました。1区藤原の好走を全員で粘り強くつないだ結果です。8位以内の目標も達成し、百点満点の出来でした。保護者、生徒、教職員をはじめ、地域のみなさまにもご支援いただき、このような結果ができたと思います。本当にありがとうございました。

(1区) 藤原 匠平

僕が、この全国大会で感じたことは、去年よりも違った感覚で走れたということです。昨年はしんどかったとしか覚えていませんでした。でも、今年はずり終わった後に、しんどかったけど、達成感と楽しかったということが感じられました。こういう風に感じたのは初めてでした。スタートの時も、去年と違って早く走りたいという気持ちになりました。走った結果、1区で区間5位という結果になりました。タイムは昨年と同じで9分20秒でした。その後もメンバーが一本のたすきに思いを込めてつないだ結果、7位入賞することができました。僕がこの大会で走れたのも、今まで色々な人に支えてもらったからこそ、このタイムがでたし、入賞できたんじゃないかと思えます。だから、これから何事にも感謝の気持ちも忘れずに、日々生活

していきたいと思います。全国という舞台で、最高の仲間と走れて本当によかったし、自分にもいい経験ができました。応援、ありがとうございました。

(2区) 山中 福士

全国中学駅伝、48県のチームが競い合い、その中で7位という成績を残せて、素直にとってもうれいす。

また、山口まで、応援にきてくださった保護者、先生方、生徒にも感謝の気持ちで一杯です。この駅伝シーズン、色々な方からのご支援を受け、充実した毎日を送ってきました。

一つでも後輩に形として、また自分自身の財産として残すことができました。

三年最後にみんなと全国大会に行けたことを誇りに思います!

(3区) 大西 北斗

僕が、全国大会で一番頑張ったことは、体調管理です。

県大会が終わった後、インフルエンザにかかってしまいました。

以後、体調管理に特に気をつけて、元気に全国大会に参加することができました。

そして、大会では全国7位という結果を残せ本当によかったと思います。

(4区) 真鍋 勝耐

全国大会7位入賞。走り終え、結果を知った時にはしっくりこなかったのですが、全国の中学校出場校48チームの中で7位とわかった時、とてもすごいことだと思いました。

前回出場14位以上を目標にしていたので、とてもうれしかったです。

昨年の失敗を今年のレースで克服し、最後まで走りきり、4位で5区にたすきをつなげてとてもよかったです。

一番苦しい時に応援の声が聞けて、本当に思いっきり走れました。今年のレースは、最高の思い出になりました。

(5区) 松岡 祐月己

今年初めて、メンバーとして全国大会を走り感じたことは、そのレベルの高さでした。

昨年、走れなかった悔しさを今年にぶつけたけど、前半オーバーペースで走ってしまい後半大幅に失速、他のメンバーにとっても申し訳なく、自分に腹がたちました。

でも、最後まで、みんながたすきをつなぎ、メダルをとることはできなかったけど、7位入賞を達成しました。

この経験を生かし、高校では陸上界で活躍できるような選手になりたいと思います。

今まで応援してくってくれた先生、友だち、支えてくれた家族、河村監督、たくさんの方に見守られてここまでこれました。

ありがとうございました。

(6区) 森山 雅浩

全国大会を終えて、多くのことを学びました。

チームで助け合い信じぬくこと、そして努力をすれば必ず報われるということでした。

全国大会で7位という結果を残せたのは、応援してくれた人、保護者のおかげだと思います。

最高の仲間と出会い、最高の監督に指導していただき、最高の思い出になりました。

最後に一つ、「天才ですから!!」



青野 祐太

僕は、全国大会で走ることができませんでした。全国7位という結果は、とてもすごい成績だと思います。

色々なことでチームを応援することができませんでした。チームの補助としてきちんと役割を果たしたと思います。

角野中学校駅伝チームの補助を務めて大変誇りに思いました。

経種 亮平

僕は補欠だったので、メンバーの補助を頑張りました。

テントの場所取りをしたり、荷物を運んだり雑用を頑張りました。

そしてオープンで3kmを走り、いい思い出ができました。

しんどいけど、人生で一度だけの楽しい走りができました。

藤田 啓生

全国大会で一番心に残ったことは、オープンレースです。

レースでは、139人もの選手が参加しました。レース直前は、ものすごく緊張して、寒さとともに手や足が震えていました。

とにかく先頭の人についていくことを意識して走りました。結果は、18位でした。

最初にスピードを上げすぎたこともあって、後からバテてしまったけど、上位をキープできてよかったです。

僕にとって、中学駅伝は、最高の思い出です。

三沢 亮太郎

僕が、全国大会で頑張ったことは体調管理です。一人がインフルエンザや風邪になれば、全員が病気になることもあるので、とても気をつけていました。

僕だけではなくて、皆気をつけていたので無事に病気になるはずに走れました。

その結果、7位という順位でうれしく思います。

また、自分もオープンで精一杯走れてよかったです。最高のメンバーと最高の舞台で走れていい思い出になりました。

すごいぞ角中生!

校長 畑野周司

「第7位!」熱き襷を胸に力強くゴールラインを角中の風が駆け抜けた。



12月19日、雪降る寒風の中、山口県セミナーパークのクロスカントリーコースにて「第17回全国中学校駅伝大会」が実施され、男子駅伝チームが、48チーム中見事第7位入賞という金字塔を打ち立てた。

昨年、初めて愛媛県代表として出場し、第14位を打ち立てた後だけにすごい記録である。

昨年の14位だけでもすごいことなのに、彼らは慢心することなく暑い日も寒い日も、晴れの日も雨の日も一年間がんばってきたのである。

中だるみの時期や練習がいやになりそうな時期、怪我をしたり体調を崩した時期もあったろう。また、今年も新型インフルエンザが猛威を振るう中、一人一人の健康管理も大変だったろう。そのような中、一人も挫折することなく強い目標意識とたゆまぬ努力で掴み取った輝かしい成果である。

大会当日まで、日々早朝より指導してくれた河村監督の心労を思えば、さぞ大変であつたらうと思う。心から感謝したい。また、大会前から選手をアシストした生徒たちにも感謝したい。なぜなら、参加した十名の協力があってこそ勝ち得たものだからだ。

「ご苦勞様、全員よくがんばってくださいました。そして、素晴らしい成績を残してくださいました。」

終わりになりますが、2年間連続県代表として全国大会に出場し、このような素晴らしい成果を上げることができました。生徒や保護者、地域、関係機関等の多くの皆様方のお力添えや応援の賜物だと感じております。厚く皆様方にお礼申し上げます。

また、本大会に際しまして角中PTAならびに地域の皆様方の励ましのご寄付を頂きましたこと重ねてお礼申し上げます。ありがとうございます。

今後、彼らの意思を継いで後に続き、がんばる生徒が一人でも二人でも増えよりよい角中を築いていってほしいと思います。

今後とも教職員一同がんばってまいりますので、角中教育へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

全国中学校駅伝大会の応援に参加して

教頭 西原 泰介

12月19日午前6時30分、総勢41名の応援団が角野中学校を出発しました。

この日は、この冬一番の冷え込みで、高速山陽道の広島を超えた辺りからトンネルを抜ける度に、雪化粧の風景が広がっていたり、横なぐりの雪が舞っていたりしました。

昨年は雨だったけど、今年は雪かと1年前を懐かしく思い出しました。そして、大会会場に午前11時頃に到着し、駐車場場で新調した応援旗を組み立て、急ぎ選手たちのもとへ向かいました。

移動中、本校の応援旗のセンスの良さは日本一なのではないでしょうか、選手たちを探しました。今年は、先発の選手たちにも応援旗を持っていったらよかったので、すぐに選手たちを発見することができました。

駅伝コースは、クロスカントリーコースだけあって高低差の激しいコースですが、昨年の経験から今年はPTAのOBの方のお口添えで新居浜カントリーゴルフ場でも練習を積ませてもらいました。上り下りのコースに対する対策も万全でしたから、安心して競技スタートの号砲を待つことができました。

ウォーミングアップ中の選手たちの様子も初出場の去年とは違って、だいぶ余裕がありました。河村監督に選手たちのコンディションを尋ねると、誰一人体調をこわしたものはなく、調子いいとのこと。2年連続出場のはずは、目標の上位入賞にきっちり照準を合わせているという感じでした。

いよいよ競技が始まりましたが、1区から6区アンカーまで、常にトップ集団に位置しての見事な7位入賞。私たち応援団も、先

頭集団で駆け抜けていく選手たちに精一杯の声援をおくり続けました。今年も号砲からゴールの瞬間までの58分余りは本当にあっという間に過ぎ去り、その間の感動は脳裏に焼き付けられました。

選手たちや、保護者のみなさん、応援に参加の生徒たちの晴れやかな笑顔に、私自身がたくさんの元気をいただきました。午後2時30分、表彰を受ける選手たちより一足早く応援団は、帰路につきました。午後7時30分、角野中学校に予定通り無事帰着。

地域・当会会員への御礼

PTA会長 水田 史朗

全国大会出場に際し、ご支援・ご声援いただきましたこと心より御礼申し上げます。

殊に自治会をはじめ地域の諸団体各位様には、予期せぬインフルエンザの影響を考慮していただき、多大なるご寄付をいただきましたことありがとうございます。お陰さまで好成績を収めることができました。

当日は、大気を清める如く雪のちらつき、選手および応援団の心は熱くかつ冷然としていました。六区を駆け抜けた各走者の表情はまさに戦場の若武者の如くして、私たち角野の誇りを輝かせてくれました。幾度となく角中校門「前進」の碑が目につかびました。

中学時代、全ての出来事の中で、生徒は個人の信念をかたち作っていきます。今回の快挙もそのひとコマです。

一人ひとりの信念が真珠のように輝きを増す様子を、これからも皆様が見守り、応援してください。ことをお願い申し上げます。